

平成22年7月6日

全国ヤギネットワーク
代表 今井 明夫 殿

全国山羊サミット沖縄大会
実行委員会委員長 平川宗隆



全国山羊サミット沖縄大会の中止について

拝啓、貴職におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、みだしのことについては、沖縄県の山羊文化を全国へアピールするとともに県内山羊生産者の振興活性化を図る目的から昨年度より精力的に準備を進めてきました。

昨今の口蹄疫発生を受け県では口蹄疫対策本部の設置や侵入防止に東奔西走しております。しかし、県内への侵入リスク解除や開催準備等を考慮した上で実行委員会において開催の可否を下記のとおり決定しましたのでご報告ならびにお詫び申し上げます。

なお、今後も沖縄県での山羊サミット開催について特段のご配慮を賜りますようお願い致します。

記

1. 沖縄大会実行委員会の意見について（結論）

第13回沖縄大会は中止とする。

来年度以降検討する。

2. 中止の理由について

(1) 県内山羊生産からの中止の要望が多い

口蹄疫の侵入を危惧して、沖縄県での山羊サミット開催中止の意見である。

(2) 宮崎県での口蹄疫発生において

①発生群及びワクチン接種群の殺処分、埋却の作業は終了したが、汚染物品が未処理（7月1日、農水省文書）である。

よって、終息宣言及び清浄国復帰の見通しがみえない。

②終息宣言後も再発生の可能性がある（韓国事例）。

③全国で家畜共進会等のイベントが中止されている。

(3) 宮崎県での発生は、侵入経路が解明されておらず、いつ、どこで発生するかが懸念される。

仮に第13回沖縄大会開催を決定し、準備期間中に口蹄疫発生があると全国からの参加予定者のキャンセル等の調整が困難となる。

(4) 当分の間、県内の口蹄疫侵入防止に徹底を図ることが大事である。

現在でも沖縄県内では、侵入防止のため畜産関係者が従来の業務を保留したり、多大な労力をかけている。

以上の理由により、全国から畜産関係者が一同に集うイベントにおいて、口蹄疫侵入リスクが続いている状態である。

今後も県内関係者が侵入防止に時間・労力を要するため、山羊サミット沖縄大会の開催準備に対処が困難であるため中止としたい。

なお、来年度以降は、口蹄疫発生の状況をみながら全国ヤギネットワークと協議して取り決めてまいりたい。